

# 千代田区 中小企業の景況【概要版】

～令和4年10月～12月期～

[回答事業所数の業種別内訳]

	有効回答事業所数
製造業	32
卸売業	51
小売業	25
サービス業	32
建設業	30
不動産業	29
業種計	199

【発行】 千代田区地域振興部商工観光課  
 【調査機関】 一般社団法人 東京都信用金庫協会  
 【分析委託業者】 株式会社 東京商工リサーチ

判断表 業種別定点指標値(マークの基準は業況判断D.1季節調整済修正値で判断)

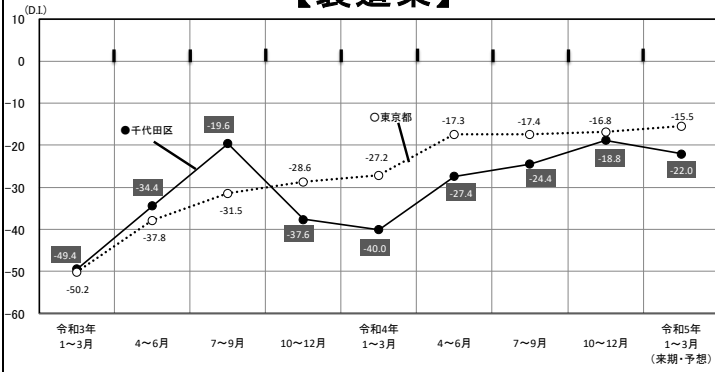
	A	B	C	D	E	F	G
製造業	20以上	19~10	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31以下
卸売業	20以上	19~10	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31以下
小売業	10以上	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31~-40	-41以下
サービス業	15以上	14~5	4~-5	-6~-15	-16~-25	-26~-35	-36以下
建設業	20以上	19~10	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31以下
不動産業	10以上	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31~-40	-41以下



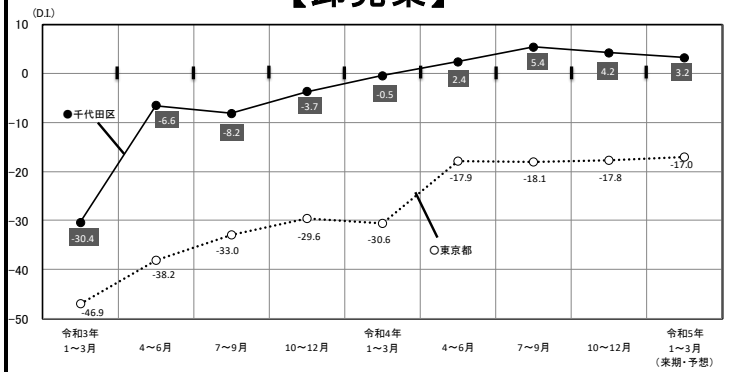
製造業	今期		E -18.8	業況は厳しさがやや和らぎ、前期から改善した。売上額は減少幅が極端に縮小し、収益は減少が大きく弱まり、改善した。価格面では、販売価格は上昇に転じ、原材料価格は上昇が大きく強まり、在庫は過剰感が大きく強まった。 来期の見通しについて、業況は低調感がやや強まると予想されている。売上額、収益はともに減少がやや強まる見通しである。
	来期		F -22.0	
卸売業	今期		C 4.2	業況は前期同様の好調感が続いた。売上額は増加幅が大きく拡大し改善したが、収益は増加から減少に転じ、悪化した。価格面では、販売価格は上昇がやや弱まり、仕入価格は上昇がやや強まり、在庫は前期並の過剰感となった。 来期の見通しについて、業況は今期同様で推移すると予想されている。売上額は増加幅がやや縮小し、収益は減少が大きく弱まる見通しである。
	来期		C 3.2	
小売業	今期		E -28.9	業況は低調感がやや強まり、悪化傾向が続いた。売上額、収益はともに減少が大きく弱まり、改善した。価格面では、販売価格は前期並となり、仕入価格は上昇がやや弱まり、在庫は過剰に転じた。 来期の見通しについて、業況は今期同様の低調感が続く予想されている。売上額、収益はともに今期同様の減少幅で推移する見通しである。
	来期		E -27.5	
サービス業	今期		D -10.8	業況は前期並の厳しさが続いた。売上額は減少幅がやや縮小し改善したが、収益は減少がやや強まり悪化した。価格面では、料金価格は上昇に転じ、材料価格は上昇が大きく強まった。 来期の見通しについて、業況は厳しさがやや和らぐと予想されている。売上額は減少幅がやや縮小し、収益は今期同様で推移する見通しである。
	来期		D -6.2	
建設業	今期		C 0.3	業況は好調感が極端に後退し、悪化した。売上額は増加から減少に転じ、収益は増加傾向がやや一服し、ともに悪化した。価格面では、請負価格は上昇に転じ、材料価格は前期並となり、在庫は不足感が大きく強まった。 来期の見通しについて、業況は今期同様で推移すると予想されている。売上額は増加に転じ、収益は今期同様で推移する見通しである。
	来期		C 0.8	
不動産業	今期		C -6.4	業況は厳しさがやや和らぎ、改善傾向が続いた。売上額は増加に転じ、収益は減少がやや弱まり、ともに改善した。価格面では、販売価格は前期並となり、仕入価格は上昇がやや弱まり、在庫は不足感が大きく改善した。 来期の見通しについて、業況は厳しさがやや和らぐと予想されている。売上額は増加から減少に転じ、収益は減少が大きく強まる見通しである。
	来期		C -4.1	

# 千代田区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測

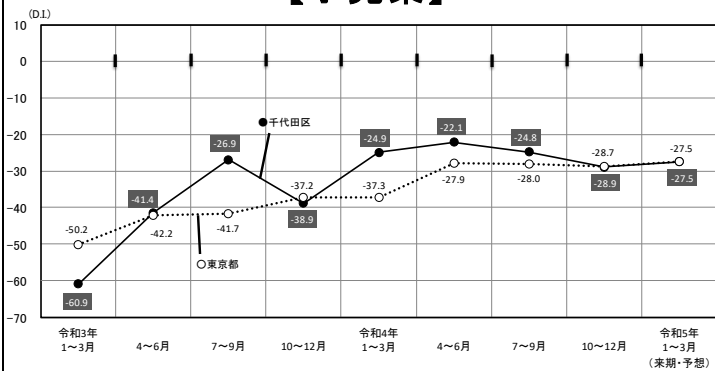
## 【製造業】



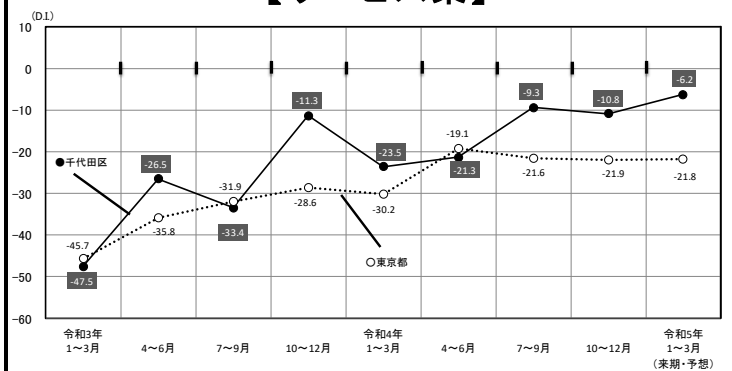
## 【卸売業】



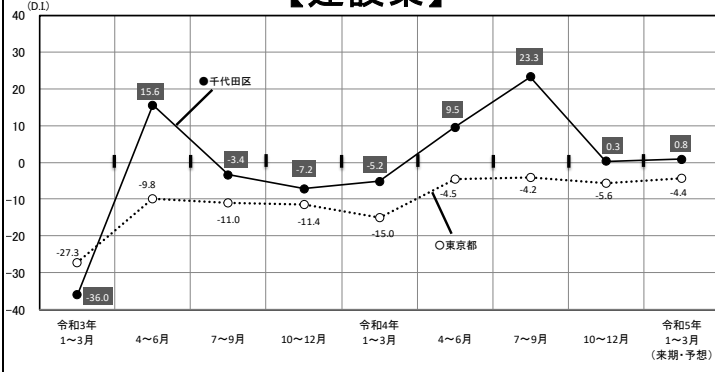
## 【小売業】



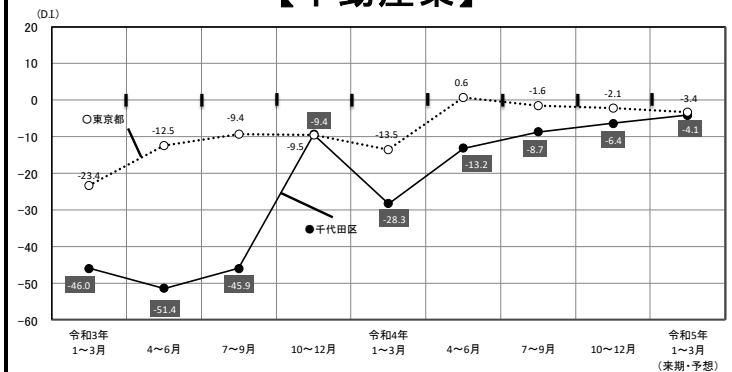
## 【サービス業】



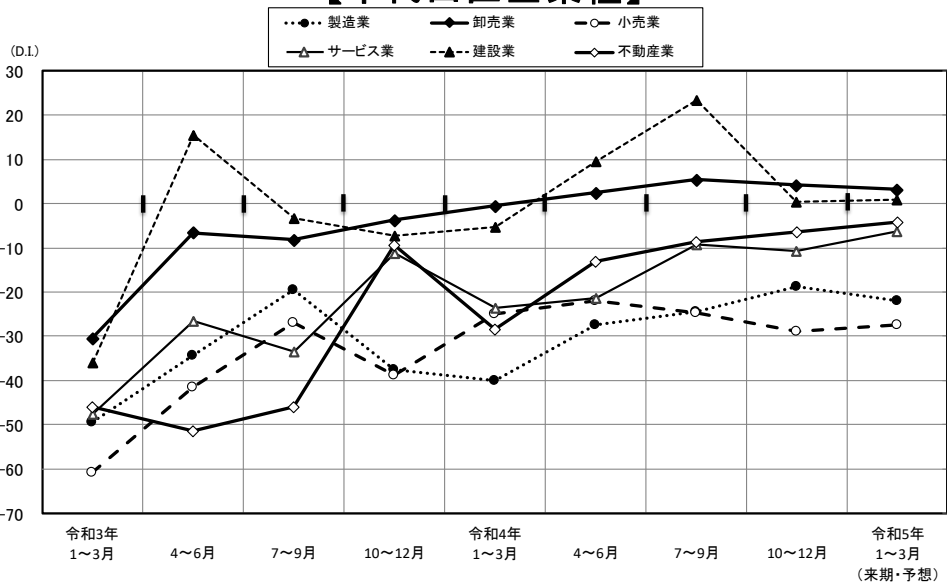
## 【建設業】



## 【不動産業】



## 【千代田区全業種】



## 千代田区 業種別 経営上の問題点

製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
売上の停滞・減少	50.0 %	売上の停滞・減少	47.1 %	売上の停滞・減少	40.0 %	売上の停滞・減少	53.1 %	材料価格の上昇	43.3 %	商品物件の高騰	37.9 %
原材料高	34.4 %	仕入先からの値上げ要請	33.3 %	仕入先からの値上げ要請	24.0 %	人件費の増加	25.0 %	人手不足	30.0 %	売上の停滞・減少	
利幅の縮小	12.5 %	利幅の縮小	27.5 %	大型店との競争の激化		人手不足		売上の停滞・減少	26.7 %	同業者間の競争の激化	20.7 %
人手不足		同業者間の競争の激化		同業者間の競争の激化	20.0 %	利幅の縮小	21.9 %	利幅の縮小	20.0 %	商品物件の不足	17.2 %
同業者間の競争の激化	9.4 %	輸入品との競争の激化	13.7 %	販売商品の不足	12.0 %	材料価格の上昇	12.5 %	同業者間の競争の激化	16.7 %	利幅の縮小	10.3 %
						同業者間の競争の激化				大手企業との競争の激化	

## 千代田区 業種別 重点経営施策

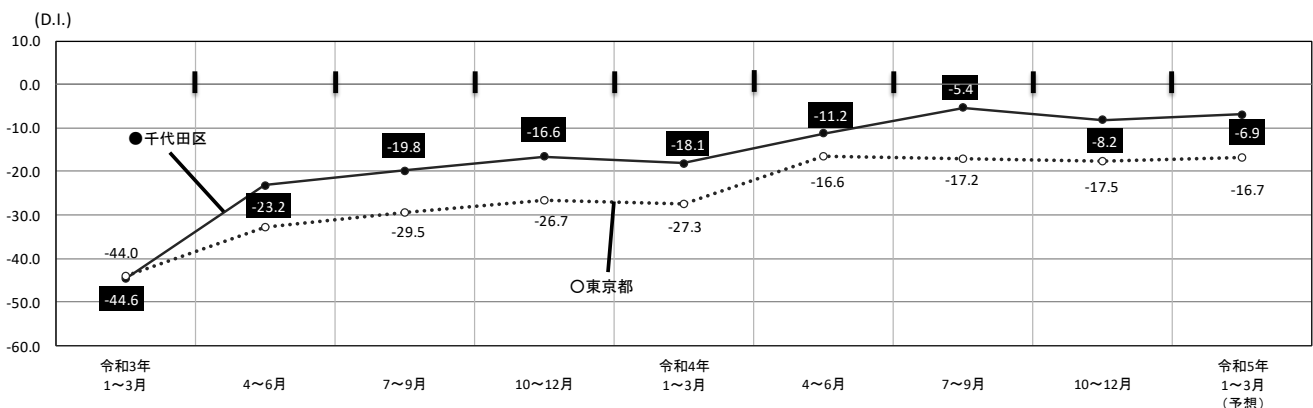
製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
販路を広げる	62.5 %	販路を広げる	68.6 %	経費を削減する	36.0 %	販路を広げる	59.4 %	販路を広げる	63.3 %	情報力を強化する	51.7 %
経費を削減する	46.9 %	経費を削減する	47.1 %	品揃えを改善する	24.0 %	経費を削減する	56.3 %	経費を削減する	46.7 %	販路を広げる	48.3 %
情報力を強化する	9.4 %	提携先を見つける	17.6 %	売れ筋商品を取り扱う	20.0 %	人材を確保する	31.3 %	人材を確保する	30.0 %	経費を削減する	20.7 %
提携先を見つける	6.3 %	品揃えを充実する		宣伝・広告を強化する	16.0 %	教育訓練を強化する	9.4 %	技術力を高める	10.0 %	提携先を見つける	13.8 %
新製品・技術を開発する		情報力を強化する	13.7 %	商店街事業を活性化させる	12.0 %	提携先を見つける		教育訓練を強化する	6.7 %	宣伝・広告を強化する	
						宣伝・広告を強化する		情報力を強化する			

## 千代田区と東京都の業況の動き

千代田区の今期の業況判断 D.I. (季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合) は-8.2 と前期 (令和4年7～9月) の-5.4 に比べ 2.8 ポイント減少し、低調感がやや強まった。

東京都の業況と比較すると、今期は千代田区が東京都を 9.3 ポイント上回った。業種別で比較すると、卸売業 (22.0 ポイント)、サービス業 (11.1 ポイント) の 2 業種で、千代田区が東京都を 10 ポイント以上上回った。一方、不動産業 (-4.3 ポイント)、製造業 (-2.0 ポイント) の 2 業種で、千代田区が東京都を 2 ポイント以上下回った。

千代田区の来期 (令和5年1～3月) の業況見通しは-6.9 と、今期よりも 1.3 ポイント増加するものの、今期同様の低調感が続くと予想されている。東京都の来期の業況見通しは-16.7 であり、比較すると千代田区が 9.8 ポイント上回り、今期並の差となる見込みである。



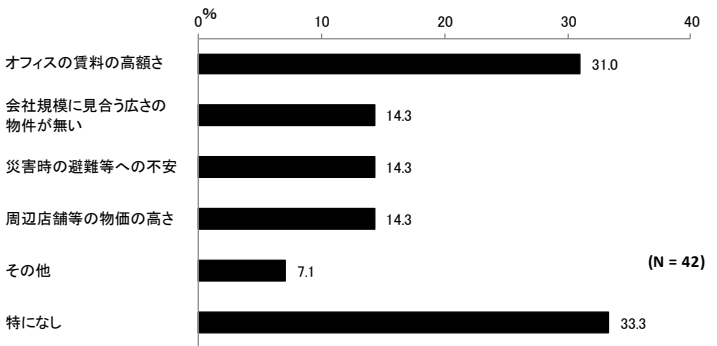
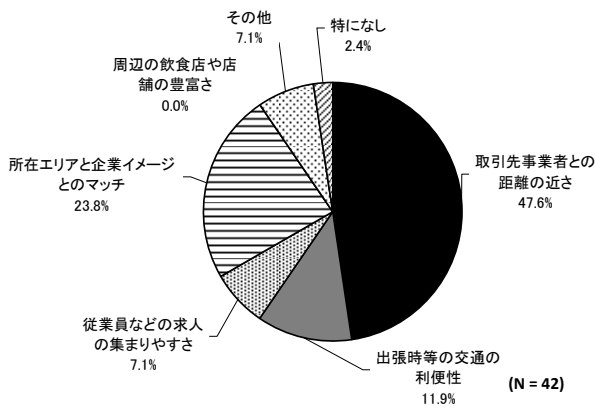
# 千代田区独自調査「現在のオフィス」に関するアンケート結果

東京商工会議所において、千代田区内の企業に対し、「現在のオフィス」に関するアンケートを実施し、42社より回答を得た。調査結果の概要（一部抜粋）は以下の通り。

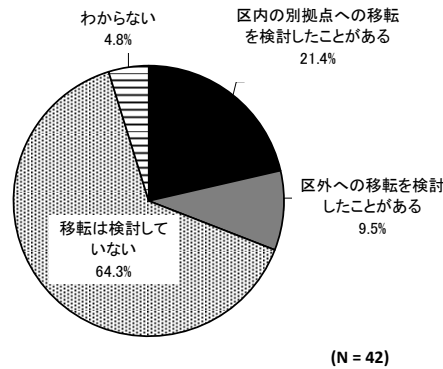
概要	① 事業所を千代田区に構えるメリット	② 事業所を千代田区に構えることで不満を感じる点	③ 事業所移転検討の有無	④ 区外への移転を検討した理由

図表1 事業所を千代田区に構えるメリット

図表2 事業所を千代田区に構えることで不満を感じる点



図表3 事業所移転検討の有無



図表4 区外への移転を検討した理由

